

平成23年11月

お客さま各位

関西電力株式会社

## 今冬における節電のお願い

謹 啓

貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

今夏の電力供給につきましては、みなさまにご心配とご不便をおかけいたしましたことを心よりお詫び申し上げますとともに、みなさまの節電のご協力に対し心より厚く御礼申し上げます。

さて、弊社は、今冬の電力の安定供給に向け、定期検査中の原子力発電所の再稼働に全力で取り組む一方で、火力発電所や水力発電所を最大限活用するための定期検査時期の変更や他電力からの電力融通などによる供給力確保についても精一杯の努力を行っております。

しかしながら、定期検査中の原子力発電所が再稼働できない現状に加え、稼働中の原子力発電所が定期検査に伴い停止した場合、非常に厳しい需給状況となる見込みです。

つきましては、今夏に引き続いての節電のお願いとなり大変恐縮ではございますが、今冬におきましても、お客さまに節電対策を実施いただきますようお願い申し上げます次第でございます。

弊社は、広域的な停電に至るような事態とならないよう、さらなる供給力の確保に全力を尽くすとともに、みなさまの一層の節電のご協力をいただけますよう、「でんき予報」により電力需給状況をお知らせする等、引き続きあらゆる取組みを進めてまいります。

再びご心配とご不便をおかけすることを心よりお詫び申し上げますとともに、お客さまのご事情に応じて節電のご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

謹 白

(ご協力をお願いしたい内容)

期 間：12月19日～3月23日の平日(12月29日～1月4日は除きます)

時 間 帯：9時～21時

節電の目安：昨年同月の使用最大電力を基準に10%以上

お客さまのご事情に応じて可能な範囲での節電にご協力をお願いいたします。

( ・お客さまの生産活動や企業活動に実質的な影響のない範囲  
・病院や鉄道などライフライン機能の維持に支障が生じない範囲 など )

# 今冬における節電のお願いについて

## 【お願い①】 期間: 12/19~3/23の平日 (12/29~1/4を除く)

本格的な冬を迎え需要が増加する一方で原子力の定期検査による停止で供給力が減少し需給状況が厳しくなる  
**12月19日から、春を迎え需要が緩み、需給ギャップも大幅に改善する3月23日までの平日、節電にご協力をお願いします。**(年末年始を除く)

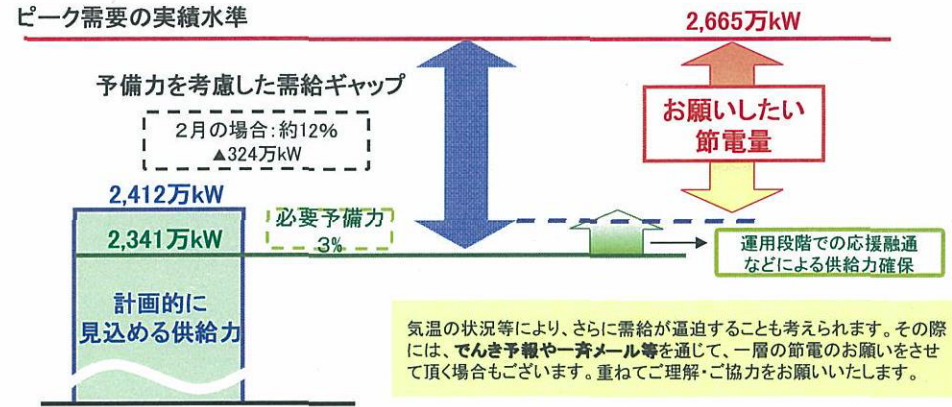
### 【今冬の需給見通し】

単位: 万kW(発電端)

	12月	1月	2月	3月
最大電力需要	2,549	2,665	2,665	2,459
供給力	2,563	2,477	2,412	2,265
予備力	+14 +0.5%	▲188 ▲7.1%	▲253 ▲9.5%	▲194 ▲7.9%
予備力 (必要予備率3%考慮)	▲61 ▲2.4%	▲261 ▲9.8%	▲324 ▲12.1%	▲260 ▲10.6%

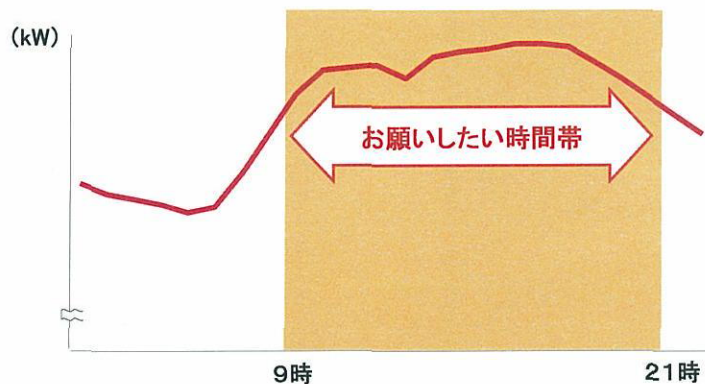
## 【お願い②】 節電量: 10%以上 (前年同月の使用最大電力を基準)

お客さまのご事情に応じて、**10%以上の節電**のご協力をお願いします。ご協力にあたっては、**病院や鉄道などライフライン機能等の維持に支障が生じない範囲**や**生産活動への実質的な影響が生じない範囲**で、**節電にご協力をお願いいたします。**  
(その場合には、お客さまの業務部門(オフィス部門等の事務・間接部門)で、さらに一層のご協力をお願いいたします。)

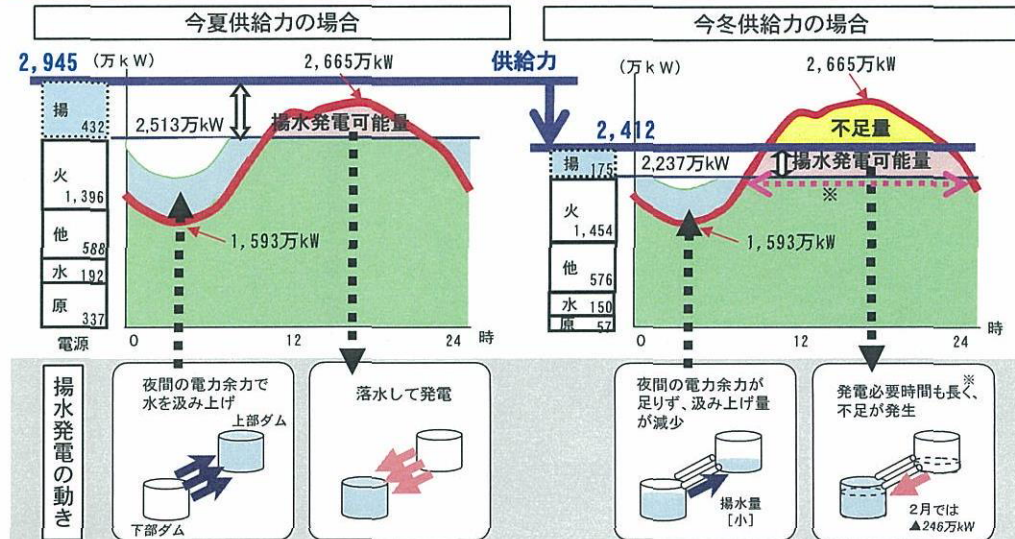


## 【お願い③】 時間帯: 9時~21時

冬の電力需要は、平日の日中(14時頃)にピークが先鋭した夏に比べると、朝から夜にかけて長くなだらかなピークとなるため、**9時~21時の時間帯で節電にご協力をお願いいたします。**



## 【今冬における揚水発電可能量】



(注)今夏と今冬の差異をご理解いただきやすくするため、本資料における電力需要カーブは、昨年度の冬季ピーク発生日(平成23年2月14日)を使用しています。